

SDGs 探究学習のススメ vol.3

11/22 (MON)

18:30 - 20:00

参加無料

事前申込必須



取り組み事例に学ぶ!

大学教育とSDGs



様々な大学で SDGs を教育活動の中に組み込んでいくことが求められている中、具体的な取り組み事例を知りたいという先生方の声にお応えするため、SDGs 探究 AWARDS より特別企画のお知らせです。



大学において SDGs をテーマに対する様々な取り組みを実践しておられる先生方をお招きし、取り組み事例や、SDGs 達成に向け、大学が果たすべき役割と今後の課題について議論いただきます。

概要

- 大学での取り組み事例ご講演
- ご登壇者によるパネルトーク



SDGs 探究 AWARDS 特別企画

登壇者



関西大学 商学部 教授
横山 恵子 先生

一般社団法人そばくりラボ代表理事。北海道大学大学院経済学研究科修了。博士（経営学）。調査現場において、既存の枠を打破して新価値創造に果敢に取り組む人々と触れあう中、アントレプレナーシップという生き様に魅せられるようになり、ソーシャル・アントレプレナーシップと協働を研究・教育活動の中核に置く。編著書に『企業の社会戦略とNPO』、『エシカル・アントレプレナーシップ』等がある。



大阪電気通信大学 工学部 教授
海老原 聡 先生

2019年より学内教員7名とともに、異分野協働で生物模倣技術によるモノづくりの授業を立ち上げる。本授業受講生らがSDGs 探究 AWARDS 2020 学生部門優秀賞受賞。東北大学東北アジア研究センターにてシベリアやモンゴルなどでの地中計測（1997-2003年）、大阪電気通信大学にてモノづくりを含めた地中電波計測法に関する研究（2003年以降）に従事。東北大学大学院工学研究科資源工学専攻修了（博士（工学））。

大阪大学 グローバルイニシアティブ機構 特任教授
及び JICA 関西シニアアドバイザー（SDGs）

田和 正裕 先生

1990年に国際協力事業団（JICA：現国際協力機構）入団後、新規事業の企画立案、国際協力人材の確保活用、南アジア及びアフリカ地域における農業・農村開発プロジェクトの管理と世界銀行やFAOとの国際援助協調などを担当。海外ではインドネシアに駐在。名古屋大学大学院環境学研究科特任教授、JICA 関西次長、神戸大学客員教授、JICA 国際協力人材部専任参事を歴任。現在は、JICA 関西シニアアドバイザー（SDGs）及び大阪大学グローバルイニシアティブ機構特任教授を兼務。



モデレーター

近畿大学 総合社会学部 講師
保本 正芳 先生

地上及び衛星データを活用した大気環境分析に関する研究などに従事。2002年『日本リモートセンシング学会論文奨励賞』受賞、日本リモートセンシング学会、日本エアロゾル学会、国際ICT利用研究学会などに所属。著書に『SDGs 探究ワークブック』『Society5.0のキャリアを考える』などがある。



審査員

SDGs 探究 AWARDS

- 開催日：11月22日（月曜日）
- 開催時間：18：30～20：00
- 対象者：大学教職員、中高教員、SDGs 探究教育に関心のある方
- 視聴定員：100名
- 参加費：無料
- 実施方法：ZOOMによるオンラインセミナー
- 申込方法：Peatixによる事前申込制
- 後援：関西SDGsプラットフォーム

<http://ptix.at/xQbW8U>



公式ページ↓

SDGs 探究 Library ↓



お問い合わせ先

SDGs 探究 AWARDS 事務局
sdgs-awards@umedai.jp



取り組み事例に学ぶ!

大学教育とSDGs